

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎364-8442

平成十七年度大代地区

公民館まつりについて

大代中 小野 菊郎

三月十一日～十二日の二日間、三十のサークル・団体により開催されました。舞台発表、作品展示、チャリティダンスパーティー、体験コーナー、出店コーナー等例年通り一年間研鑽を積まれた成果を発表され、入場者に感銘を与えて頂きました。ありがとうございます。事務局（公民館）、実行委員の方々には開催・運営に当たり大変なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様ご存知の通り、公民館まつりは自主運営が基本であります。事務局（公民館職員）まかせでの運営ではありません。各サークル・団体の方全員が協力して、自分の成果を発表する場であり、やるからには、まつりを成功させなければなりません。したがって、まつりの企画から開催まで自主的に運営することが求められております。このため、実行委員会を立ち上げるのです。その実行委員長になり手がおりません。事務局（公民館）まかせでの開催は、おかしいのです。多賀城市でも行財政改革の一環で、公民館運営を指定運営管理者に委託する計画であります。その時は、事務局依頼も形を変えてくるのは必然で、必ず自主的なまつり運営を、各サークル・団体で検討し

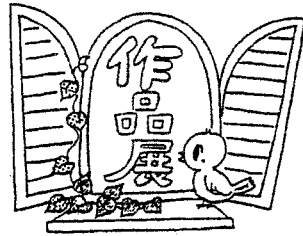
あいさつは心のふれあい

出会った人と

あいさつしましょう

てゆく事態になってまいります。これらをまとめて行くリーダーが求められます。

大代地区公民館活動は、多くの方々の参加で、地域の文化となって根を張り、地域の活動を醸し出しております。この力、熱意を形にして、後輩に引き継ぐ責任が私たちにあるのではないのでしょうか。各サークル・団体をご指導いただいております指導者の方にも、会員の方々にご助言を賜りたく切にお願い申し上げます。



春の交通安全運動



春の交通安全総ぐるみ運動

◎期間 平成十八年四月六日（木）から四月十五日（土）

- この運動は子供（特に新入学児童）と高齢者の交通事故防止を基本としながらつぎの四点を重点に行われます。
 - ☆ 自転車の安全利用推進（全国共通）
 - ☆ シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底（全国共通）
 - ☆ 飲酒運転の根絶（宮城県独自）
 - ☆ 飲酒運転の根絶（塩竈警察署独自）
- これからはお互いに注意しあつて地域から、家族の中から交通事故の、加害者、被害者をださないように、明るく住みよい街にしましょう。

多賀城市交通安全協会

東部支部長

ボウリング大会を終えて

体育部長 熱海 五郎

大代地区コミュニティ主催ボウリング大会が去る二月二十五日（土）一兆パーフェクトボールにおいて開催し、白熱した中でも楽しく大会を終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。結果は次のとおりです。

- 優勝 結城 一志
- 第二位 橋本 浩
- 第三位 斉藤 勉

十八年度の行事も、多数の方々の参加をいただき、コミュニケーションを図ってまいりたいと思います。

大代地区公民館だより

「平成十八年度五・六月開講 講座受講生徒募集」

◆ 申込受付／四月二十日（木）午前九時から大代地区公民館体育室にて受付開始。

◆ 来館の上直接お申し込み下さい。（電話での受付は致しません。）

◆ 定員になり次第締め切らせていただきます。（先着順）

◆ 開講講座の詳細については、広報たがじょうと同時配布の史都普ラン四月号をご覧ください。

問／大代地区公民館へ

☎364-8442

「祝儀

お見舞いは

三千円を限度にし

お返し物は

はしないように

お互い気を配り

ましょう

涙の帰還船（四十一）

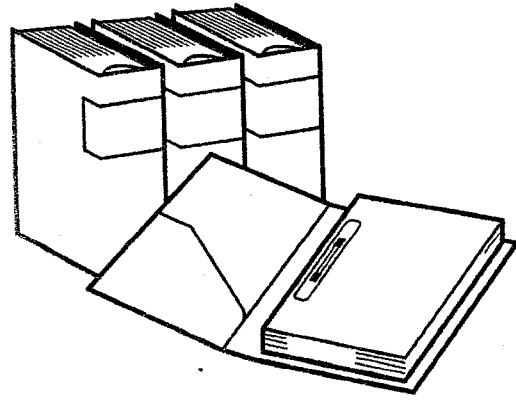
大代南 後藤 清一

お早うございます。皆さんよく眠れましたか。船長の朝のコールで目が覚めた。三日目の朝を迎えもう六時になります。本日も快晴です。まもなく朝日も昇ります。久しぶりの日本の日の出をご覧下さい。本船もあと数時間で皆様の祖国に着く予定です。どなた様も静かに穏やかに感動の一步でありませう。帰りを家族始め国民心からお待ちしております。疲れた日本の復興の担い手として大きな期待を寄せているのです。船長の熱い励ましに皆安堵し顔を紅潮させるのでした。あと少しで日の出との声に皆甲板にかけ登る。漁火が望見されボヤけて見える。俺達の船と併走し漁場に急ぐ船がスピードで追い越して行く。遙か水平線に昇り始めた太陽、その真つ赤な陽光が波間に上下して美しい。何年振りかで見える洋上の日の出に皆黙して拍手する。十時頃には舞鶴に入港予定とか今何時だ時間が気になる。時計始め私物など総て没収され何もない。船は穏やかな日本海を順調に進む、早朝のデッキに立ち思ひは既に日本に、あと少しで上陸かそして皆に会えるだよな。万感の想い突然船首の方であれ島でないか、誰か指をさして叫んでいる。何処だ何処だその方向に視線がゆく。

遙か水面上にかすかに、正に日本列島だ徐々に鮮明になってくる独特な島影、緑の樹木に包まれるで箱庭の様だ。毎日思い焦がれた祖国を眼前に只涙でした。何十年振りと言う人もいる。感動でほほを濡らしている者、肩を叩きあっている者、涙を流し泣くことなんて恥ずかしくない等と様々であった。船が進むにつれ島が右、左と変わって見える。船は静かに港に近づくスクリユウの蹴散らすうねりを見て過ぎた出征当時を思い出していた。多くの皆さんの万歳に送られ勝利を信じて勇んで征った俺達、今敗戦、捕虜と言う汚名を背負い生きて帰ってくる。多くの友を失い一緒に帰れなかった同胞達、本当に悔しい死んでいった友の野辺送り、凍った穴に投げ捨てる様に葬った事を想い出し辛く悲しい。シベリヤ抑留生活俺には本当に長い空間であった。美しい日本の線が目にし、四年も生活したシベリヤとの決別に思ひは複雑である。船は刻々と港内に入る。やがてエンジンが止まり少し沖合に停泊する。すると船上の一部の者達は一斉に叫び甲板に整列する。彼らは荒々しくインターナショナルや、国際青年の歌など歌い氣勢をあげる。数年に亘る激しい思想教育の為だったのだ。我々は日本人だ自信を以て祖国復興に力を合やすのだ。シベリヤで死んでいった友よ悲しむ必要はない。それまで耐えて忍ん

でくれ必ず墓参りに訪れ復興の様子を話すから。

続く



古文書等の

借用について（お願い）

大代に古くからお住まいの方で、ご家庭内に先祖から保存している家訓・旅行記・行事記録・写真等がありまして、現在収集中の歴史資料の参考にしたいので、お差しつかいなければ、左記のところまでご連絡ください。

記

大代西 佐藤 甚六

☎ 三六四〇九〇六

大代中 渡辺 久

☎ 三六二一六一八七

ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

荒川を静香に渡る「金の舟」
メダル無き男子を笑うソフィアかな
役員の観光旅行トリノピコ
入浴剤で日本列島一周す
ボケ夫婦ボケないことが一つある
どこへ行く親なき後のチルドレン
旭ヶ岡九億円の空敗布
改革は議員年金廃止せず
親子して学校へ通う神の国

俳句

大代西 松浦 富男

料峭や仁王の像の力瘤
啓誓や土唾えたる蟻走る
西行の戻りの松や冴え返る
よく笑う姉妹三人ひな灯り
つぼの碑に佇つ人あり春浅し

笠神西 本郷 勝子

明六つや露天風呂に落ちる名残雪
露天湯や極楽々々山笑う
摩訶不思議元氣をもらう露の臺
日溜りに狭しとばかりいぬふぐり
春光や遠き島々生き生きと

